

# 政策調整会議の概要

開催日 令和6年1月18日（木）

## ◎項目

- 1 令和5年度11月分の時間外勤務の状況について【総務部】
- 2 高知県職員520運動の令和5年度第2四半期（7月～9月）実績報告アンケート結果について【中山間振興・交通部】
- 3 その他

## ◎内容

### 1 令和5年度11月分の時間外勤務の状況について【総務部】

総務部より、令和5年度11月分の時間外勤務の状況について、説明が行われた。  
（総務部）

令和5年11月分の時間外勤務は、前年度比で1.0%減少。本庁が1.9%増加、出先機関が9.1%減少となっており、各種計画の改定作業などにより本庁の時間外勤務が若干の増加傾向にある。11月までの累計では、前年度比で0.4%減少。今後、計画の改定作業が大詰めを迎え、来月には議会が開会して繁忙となることが予想される。適切な勤務時間管理のために、時間外勤務を命令する際には、正職員や会計年度任用職員への事前の声掛けを行うとともに、実績を確認し、必要な場合は事後の追命をお願いする。

### 2 高知県職員520運動の令和5年度第2四半期（7月～9月）実績報告アンケート結果について【中山間振興・交通部】

中山間振興・交通部より、高知県職員520運動の令和5年度第2四半期（7月～9月）実績報告アンケート結果について、説明が行われた。  
（中山間振興・交通部）

今年度はアンケートの回答率100%を目標としているところ、第2四半期の回答率が77%であった。第1四半期の回答率も77%で横ばいの状況。公共交通利用率は18%で、第1四半期と比較して6%低下した。脱炭素社会推進アクションプランでは、今年度、公共交通利用率25%を目標としており、目標達成に向けて公共交通の積極的な利用をお願いする。1月19日から第3四半期分のアンケートを実施するので、回答率が100%となるよう各部局で周知をお願いする。

### 3 その他

#### （1）県内の新型コロナの状況について【健康政策部】

現在、新型コロナは定点で計測しており、10.98という数値。実数ベースで1日当たり1,000人相当の新規感染者が発生している状況。前週比で約1.5倍、昨年末と比較して約5倍になっており、県としては第10波に入ったという認識を持っている。クラスターも増加傾向であり、高齢者施設では事前の検査を始める。全国的に流行している新しい株が県内にも入っているため、注意をお願いする。こうした情報を報道機関を通じて県民の方にも知っていただき、感染対策を呼びかけているところ。

## (2) 能登半島地震への職員派遣について【総務部】

職員派遣については、全国知事会と総務省からそれぞれ派遣依頼があり、各部に動員の依頼をしているところ。他県からの派遣が優先されている状況もあり、現在は知事会から要請があった金沢市内の1.5次避難所の運営などにあたる要員9名が待機中。今後、総務省から被害家屋認定士などの派遣要請の可能性はある。

## ○ 副知事

年明けから情報漏洩案件が発生している。複数人で確認を行うなど、基本を徹底すること。

各種計画の改定作業にあたり、部局間で調整事項がある場合は、副部長同士が積極的に話をして調整を図ること。

新型コロナ、インフルエンザが流行しているため、健康管理には十分留意すること。